

こんにちは！名寄市地域包括支援センターです！

これから専門職による「心不全」に関するお話を掲載していきます。
第1回は、市立総合病院の豊嶋医師に協力いただき、心不全とは何か、心不全になる原因、病院での体制など詳しくお伝えします。



名寄市立総合病院循環器内科
とよしま 更紗 医師

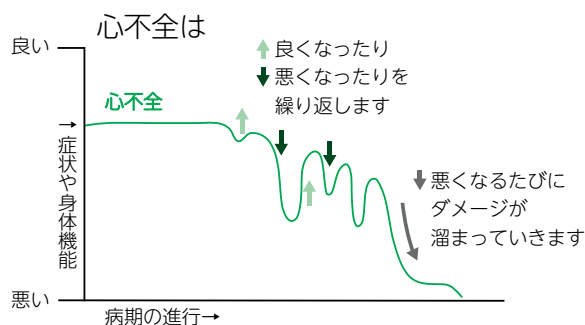
心不全ってどんな病気？

心不全とは「心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなって生命を縮める病気」です。高血圧や不整脈、弁膜症などさまざまな疾患が、心不全の原因となります。

日本では高齢の心不全患者が大幅に増加する「心不全パンデミック」に直面しています。

心不全は良くなったり悪くなったりを繰り返し、そのたびに心臓や体の機能を低下させます。普段の生活で心不全を悪化させる原因は、薬の飲み忘れや塩分のとりすぎなどです。

心不全の悪化を見逃さないように、体重を測るなどセルフモニタリングを行い、忘れずに薬を飲んだり、塩分をとりすぎないように自己管理を行うことで、心不全の悪化を防ぐことができます。

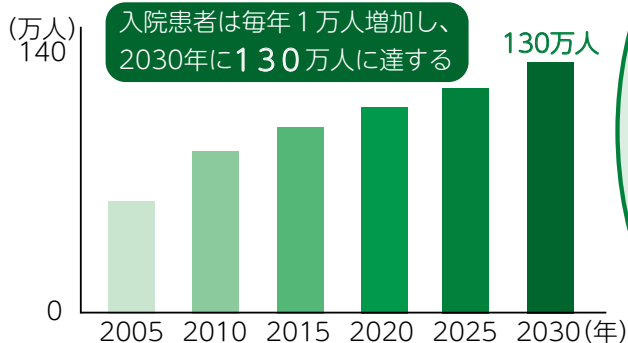


心不全多職種連携 と心不全療養指導士

認知機能の低下により、自己管理が難しくなる高齢の心不全患者が増えています。

当院では医師や看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、社会福祉士などさまざまな職種が関わることで、それぞれの知識と技術を生かして、患者さんの退院後の生活や自己管理をサポートしています。日本循環器学会は「心不全療養指導士」制度を開始し、当院では令和3年度に5人のスタッフがこの資格を取得しました。

これからも患者さんが自己管理を行えるサポートに取り組んでいきます。



心不全手帳

心不全患者さんがセルフモニタリングした体重や血圧は、日本心不全学会の発行する『心不全手帳』に記入していただいております。

市立病院でもオリジナルの『心不全手帳』を作成中です。



◆問い合わせ
地域包括支援センター地域包括支援係（名寄庁舎2階）
☎01654③2111（内線3260）